

# かながわ教育フェスティバル2017 第67次神奈川県教育研究集会

## 平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立

とりわけ、授業準備・指導の力量が不十分であり、特に国語科については、免許外ということから、毎日、冷や汗が出る状況でした。大人びた生徒からは、「先生！社会科の時間は自信を持って教えてくれているけど、国語の時間は、

三五年近く前、埼玉県の中学二年生の前に立ち、初めて社会科歴史と国語の授業をしました。その学年は、前年度に学年崩壊をしており、不安に満ちたスタートとなりました。職場はあたたかく、早々に新採用六人若手に声がかかり、「学級開き」講習会が開かれました。講習会のアドバイスを受けて、スタートを切りましたが、学級の役員決め、給食・清掃指導など、ことごとく上手くすすめることはできませんでした。

一方、生徒会担当になる中、同じ担当の若手の先輩たちが、何かにつけアドバイスをしてくれ、自分の悩みも打ち明けられるようになり、ずいぶん心の安定感は増していきました。野球部や生徒会の指導をする



神奈川県教職員組合 執行委員長 芹沢 秀行

教育実践を大切に  
「初心に戻る!!」



第66次県教研全体会オープニングイベント



第66次県教研分科会特別分科会シンポジウム

自信なさげじゃない？」と言われる始末でした。教材研究に時間を割けばいいものの、放課後の野球部の指導の時間に現実逃避してしまいました。

中で、徐々に生徒たちとの人間関係も形成され、それにもなつて授業は整ってはいきましたが、魅力的な授業とは到底言えません。二年目以降そのことを自覚し、学校外の社会科研究サークルなどに積極的に参加し、子どもにも興味・関心を持ってもらいながら、子どもたちの社会科の学力をいかに育てていくかについて、勉強し、子どもたちを

「学びの主体者」として位置づけていくことの大切さを知るようになりました。そのような時を経て、採用五年目で神奈川県に転勤し、三浦半島地区教組の組合員となりました。その後、社会科分科会の世話人を受け、教研活動に関わるようになり、地区教研にレポートを提出し、県教研、全国教研に参加する機会を得ました。さらに五年後、執行委員となり、進路保障と選

抜制度分科会の担当役員になりました。このような経験は、教育実践に確かな自信を持たせた私自身の教育実践を鍛え、育ててもらう場となりました。地区教組の教育研究集会ならびに県教育研究集会が、少しでも、教職員のみならずの実践や教育活動の礎になつてくれるよう、心から祈念しています。

最後に、第六七次教研の成功にむけ、特段のご協力をいただいている開催地区の湘北地区教職員組合協議会をはじめとする地区教組のみなさまに感謝を申し上げます。本次教研にあたっての挨拶とさせていただきます。

### 2017年10月21日（土）全体会 考えよう!耳をかたむけよう!

会場：相模原市民会館 時間：午後  
記念講演「わたしの絵本」  
講師：内田麟太郎さん（絵本作家）

記念講演は、絵本作家の内田麟太郎さんをお迎えします。内田さんは個性的な文体で独自の世界を展開し、「言葉の魔術師」といわれています。HPや、ツイッター、フェイスブック等を通じた発信や、講演活動もされています。今回は子どもたちの発想力やアイデアを引き出すことについてお話しいただく予定です。



#### <講師プロフィール>

1941年福岡県大牟田市生まれ。看板職人をして詩を書き始める。38歳より児童書を書き始め、絵本デビュー作『さかさまライオン』で「絵本にっぽん賞」受賞。他受賞歴多数。『おれたちともだち』シリーズはロングセラーになっている。現在、日本児童文学者協会理事長。

#### <主な著作>

『さかさまライオン』（絵・長新太、童心社）（絵本にっぽん賞）  
『うそつきのつき』（絵・荒井良二、文溪堂）（小学館児童出版文化賞）  
『がたごとがたごと』（絵・西村繁男、童心社）（日本絵本賞）  
『おれたちともだち』シリーズ（絵・降矢なな、偕成社）  
『ぶたのぶたじろうさん』シリーズ（絵・スズキコージ、クレヨンハウス）

### 2017年10月29日（日）分科会 議論しよう! 語り合おう!

会場：大和市内 時間：9:30~16:10(予定)

県教研分科会は、今年も23分科会で行われます。日本語教育や社会科など教科にかかわる分科会、教育条件整備や障害児教育等、教育全体にかかわる分科会で構成します。神奈川県内のさまざまな実践や意見にふれ、学習を深めることができます。

#### 展示ブース

<分科会会場内にて>

「理科ハウス」の教材やNPO・労働団体などの教育プログラムの紹介、専門部の教材紹介などのブースがあります。休憩時間や分科会終了後にぜひお立ち寄りください。



### 特別分科会

#### 参加しよう! 交流しよう!

#### ワークショップ

授業や教育活動にすぐ役立つヒントを提供する参加・体験型の講座です。

昨年度は、「仲間づくりゲームのネタ」や「楽しく科学体験〜世界の見え方が変わる理科学習〜」など、実践に活かせる講座や教室ですぐに試してみようと思えるような活動を紹介する講座を設定しました。

#### シンポジウム

保護者とともに教育課題を考え、社会的対話を通してお互いの考えを理解するために、シンポジウムを開催します。



横浜市西区藤棚町  
2-197

神奈川県教職員組合  
発行人 芹沢 秀行  
編集責任 白井 千浪



<http://www.ktu.or.jp>

No.718

2017. 5. 31

第67次神奈川県  
教育研究集会  
【特集】

第8回憲法学習会



# 第67次神奈川県教育研究集会の基調

## 憲法・子どもの権利条約の理念を生かす社会を！ 平和・人権・環境・共生の教育を！

### 一・はじめに

神教組は、平和で民主的な社会をつくるための未来を担う子どもたちを育む教育研究・実践が重要であるとの認識から、毎年教育研究集会を開催しています。

これまでの教研集会の成果を継承し、第六七次神奈川県教育研究集会を今年も二日間日程で開催します。全体会は、一〇月二日(土)相模原市民会館で、分科会は一〇月二九日(日)に大和市内で行います。

神教組は、教研改革を運動の柱に位置づけ、「ひらかれた教研」と「教研の活性化」にむけた取り組みをすすめています。

毎年多くの新採用者教職員を現場に迎える中、教研運動を次世代へ継承していくことが、大きな課題の一つとなっています。教育実践について議論し、互いの実践力を高めていく場として、また教職員だけではなく「社会的対話」を推進する観点から、保護者や市民と教育の今日的課題の共有と課題解決にむけて議論する場としても、教研集会の意義はますます大きくなっているといえます。

私たちは、子どもたちの豊かな学びを育むために、学校の仲間と教育実践を検

証し高めあい、さらに保護者や市民と、子どもの成長を確かめあいながら教育を創りあげていくことが大切です。教研集会にて、その実践についてのレポートが数多く報告されることを願っています。

全体会においては、今日的な教育課題について提起し、分科会においては、明日の授業に活かすワークショップの実施、各団体による展示ブースの出展など、日常的教育実践につながる多くの参加者が集うことのできる教研集会をめざします。

① 経済的な格差が拡大し、貧困層の増加、固定化が生じています。内閣府の「子ども若者白書」(二〇一五年)によると、子どもの相対的貧困率は一六・三%、そのうち、ひとり親世帯の相対的貧困率は五四・六%と非常に高い水準となつています。さらに、ユニセフの「貧困の深さ」に関する調査(二〇一六年四月)によれば、日本は子どものいる世帯の所得格差が先進国四一カ国中八番目に大きいことが指摘され

### 二・教育・子どもをとりまく状況

② 「カリキュラム・マネジメント」や「主体的・対話的で深い学び」などをキーワードとした次期学習指導要領が告示されたが「どのよう

に学ぶか」

「なにができるようになるか」まで記載されています。学習指導要領は大綱的基準であり、指導方法や評価まで画一的に規定すべきではありません。また、目標の記述も膨大で、本来、子どもの実態からスタートすべき授業づくりが、実態からかけはなれるものとならないか危惧されます。道徳の評価や小学校英語の教科化にともなう授業時間の増加等による現場教職員や子どもの負担増も懸念されます。

③ 外国につながる子ども、性的マイノリティの子なども、さまざまな子どもたちがいます。神奈川県においてはこれまでも、ふれあい教育のもと、すべての子どもができるだけ同じ場で学ぶ教育実践が行われてきました。障害者差別法の施行や文科省から性同一障害や・性自認にかかわるきめ細かな対応等の通知等も出されており、改めてインクルーシブな学校・社会をつくっていくことが求められています。

いじめ問題も深刻な状況が続いています。文科

省の調査によると、全国の小・中学校・高校・特別支援学校で認知したいじめの件数は、前年度より大幅に増加しています。また、不登校児童・生徒数も増加しています。こうした状況を受け、「教育機会確保法」が施行され、不登校児童生徒に対する継続的な状況把握や支援、環境整備等、



第66次県教研全体会記念講演講師 副島賢和さん

## 第67次教育研究活動推進の方針

### I 基本目標

- 平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立
- 子どもを中心にした教育改革と教育の自由の確立

### II 基本方針

保護者・地域住民との社会的対話を積極的にに行い、多くの市民と連帯して地域からの教育改革にとりくみます。また、社会全体に教育実践を発信する「ひらかれた教研」をめざします。

1. 憲法・子どもの権利条約の理念にもとづき、平和で民主的な社会の主権者としての生きる力を育むため、子どもを主体とした教育実践をすすめます。
2. 「子どもたちの豊かな育ちと学び」を保障するため教職員自らが意識改革をすすめる、平和・人権・環境・共生をふまえたカリキュラムづくりをすすめます。
3. ゆとりと精選された教育課程編成をめざすという学校週五日制の趣旨を

### 三・今次教研の課題

- ① 憲法・子どもの権利条約の理念に立ち、「開かれた学校づくり」の実践を推進し、学校改革の議論をすすめます。
- ② 学校五日制の趣旨をふまえた教育実践にもとづいて議論をすすめる、「ゆとりと希望の教育」を実現

現するカリキュラムを創造する視点で検討します。

- ③ 学習指導要領を検証し、「ゆたかな学力」観を構築し、総合学習にとりくむ中、地域に根ざした創意あふれる教育課程編成をすすめます。
- ④ 子どもをとりまく状況を、教育にかかわるあらゆる人々と共通認識し、

- ⑤ 平和・人権・環境・共生・ジェンダー・インクルージョン・開発教育等の視点を盛り込んだ、幅広い今日的な課題のとりくみをすすめます。
- ⑥ 教文研活動と教研活動の連携をはかる取り組みをすすめます。



第66次県教研分科会「障害児教育」分科会



県教研に参加してみませんか？

◎昨年の第66次県教研（分科会）では次のようなことを中心に議論されました。

No.	分科会	討議の柱	No.	分科会	討議の柱	No.	分科会	討議の柱
1	日本語教育	○言語活動の基盤を培う国語科の役割 ○思考力・判断力を高める国語科の実践 ○教材のさまざまな工夫と実践	9	保健・体育教育	<保健> ○健康な心と体を考える実践について <体育> ○体育の授業の充実と健康・体力向上のための日常的なとりくみ	16	環境問題と食教育	○食教育・学校給食の課題を考える ○環境問題を考える ○身近なところから環境教育を考える
2	外国語教育	○外国語教育の可能性 ～指導法・国際交流・教科化について～	10	生活科・総合学習	○子どもの主体的な学びをつないでいくために大切なこととは ○学校・地域の特色を生かし充実した活動を生み出す全体計画・カリキュラムづくり	17	平和教育	○平和教育の課題と教材 ○平和教育を探る手立て
3	社会科教育	○現代の課題にどうこたえるか ○どのように社会科の授業をくみたてたか ○児童・生徒の興味・関心をひきだす教材について	11	自治的諸活動	○児童・生徒理解とリーダー性を育てるためのとりくみ ○異学年交流・たてわり活動の意義 ○子どもたちが主体的にとりくむ児童会・生徒会活動 ○学校行事における自治的活動と特色あるとりくみ	18	情報化社会と教育・文化活動	○地域とともに育み、学び合う教育文化活動 ○校務の情報化、効率的な校務のあり方、個人情報扱い方 ○情報機器を利用した効率的な学習活動のあり方と新たな課題 ○メディア・リテラシー教育・情報活用教育の実態と課題
4	算数・数学教育	○学習活動の工夫（学び合う学習） ○教材の検討・指導法の工夫 ○実践交流	12	幼年期の教育と保育問題	○幼保小中・他機関との連携と教育実践 ○異学年・異校種交流を通して育つ子どもの姿	19	選抜制度と進路保障	○進路保障をめぐる諸問題を、子どもたちや保護者とうどう共有していくか ○進路学習の原点に立ち帰り、進路保障を学校教育の中で、どのように捉えるか ○新入試選抜制度の検証と次年度にむけての課題や、「県立高校改革実施計画」に関する意見交換
5	理科教育	○ふれあいや体験を生かした理科学習 ○一人ひとりの科学的探究心と思考力を高める授業 ○教材・教具の工夫と指導法	13	障害児教育	○インクルーシブ教育にむけて ○特別支援学校、学級の実践 ○各地区の現状と課題	20	カリキュラムづくりと評価・学力	○学力向上について ○カリキュラムづくりについて ○評価について
6	図工・美術教育	○素材や描材のいかし方 ○評価のあり方	14	人権と国際連帯の教育	○一人ひとりの子どもに寄り添うことから何を学んだかを検証しよう ○子どもの人権を大切にしたい教育のあり方を、実践から学ぼう ○部落差別・民族差別の現実について考え、人権教育・多文化共生と国際連帯の教育をすすめよう	21	地域における教育改革とPTA	○地域へとひらかれた教育活動 ○地域とともに歩む学校
7	音楽教育	○音楽を通しての自分づくり、仲間づくり ○豊かな音楽学習をめざして	15	自立と共生をめざす教育	○性の教育 ○意識・慣習の見直し ○社会情勢 ○労働・家庭	22	教育条件整備	○子どもたちのより良い学びにむけて ○学習権の保障と教育予算について ○児童・生徒の学習環境の整備について
8	技術・家庭科・職業教育	<職業教育> ○技術科における職業教育のとりくみについて <家庭科> ○授業と生活の一体化をめざして <技術> ○身近な生活における情報教育のとりくみ				23	民主的な学校づくり	○勤務実態、組織づくりを通して ○教材研究、研修、地域との交流を通して

あんしん むすぶ  
教職員共済

退職予定者向けセミナー

のご案内です♪

退職に関して、疑問な点や、不安な点はありませんか？

退職手当は確定申告必要？

公的年金は何歳からもらえるのかな？

退職した後社会保険の手続きは？

保障の見直しどうやるの？

◆講演 『退職後のライフプランを考えよう』

1級ファイナンシャル・プランニング技能士資格を持つ講師が、退職後の公的年金、社会保険、保障の見直し、退職手当の運用まで、わかりにくい内容も、丁寧にわかりやすくご説明いたします

開催日程・場所

7月29日(土) 平塚市教育会館

①10時00分～

8月5日(土) 神奈川中小企業センタービル (関内)

②10時00分～

③14時30分～

※参加ご希望の方は、7月14日(金)までに、FAXか郵送で参加申込書をお送りください。(当日消印有効)

用紙がお手元にない場合、下記までご連絡いただくか、教職員共済ホームページからダウンロードをしてください。

※定員になり次第、締切になります。その場合は、ご容赦ください。

※各回、内容は同じです。ご都合のつく回でお申し込みください。

退職後の公的年金、社会保障についての説明が、『非常にわかりやすい!!』と、毎年ご好評を多くいただくセミナーです。

例年、定員以上の申し込みをいただきますので、ご予約はお早めにお申し込みください!!

退職に関する疑問点、全部スッキリ解決させましょう!!

ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください

厚生労働省認可  
教職員共済生活協同組合 神奈川県事業所  
〒220-0053 横浜市西区藤棚町2-197 神奈川県教育会館内

TEL 045-242-6660  
FAX 045-242-3881

日教組「障教ネット」に登録しませんか

「障教ネット」とは、「障害のある教職員ネットワーク」の略称で、障害のある教職員の雇用拡大、当事者の意向を尊重した合理的配慮の実現にむけて活動しています。

2014年3月に結成され、2017年3月現在、26単組79人（昨年3月末時点22単組66人）が登録しています。11月に「障害のある教職員ネットワーク」第4回全国集会在開催されます。

（1）目的

・障害のある教職員のニーズを把握し、労働条件に関する情報や課題等を共有する。

・障害のある教職員の雇用拡大、合理的配慮措置の推進をはかり、障害のある教職員が働きやすい職場環境を整備する。

・障害のある教職員を組織化し、インクルーシブな職場づくりをめざす。

（2）対象

・障害者手帳を取得している教職員

・障害者手帳を取得していないが、難病等機能障害があり、日常生活に相当の制限を受ける状態にある教職員

※日教組（＝神教組）の組合員である教職員であることを原則とする。（ただし、障教ネット登録と同時に組合に加入する場合は参加できます）

（3）募集期間

2017年9月29日（金）まで

※それ以降の登録でも構いません。

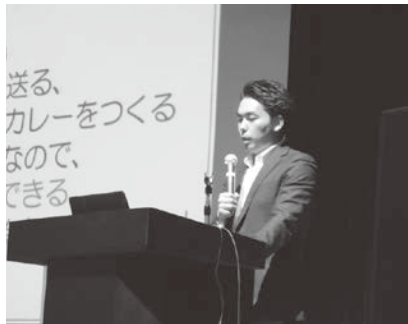
☆お申し込みや詳細については、地区教組へお問い合わせください。

## 神教組第8回憲法学習会

5月30日、横浜市西公会堂にて、「神教組第8回憲法学習会」を開催しました。講師に神奈川新聞「時代の正体」の対談をはじめ、多くの憲法学習セミナーへの登壇などで活躍されている倉持麟太郎さん（弁護士）を迎えて、「共謀罪と憲法と私たちの自由」と題して、講演いただきました。県内から約200人が参加し、国会で審議がすすむ共謀罪について学びました。

（参加者の感想から）

- ・「共謀罪」が成立することで多くの人が取り締まり対象になり、監視されることの怖さを感じました。初めて聞く内容が多く、社会の動きに対してもっと敏感になるべきだと思いました。
- ・自分の頭の中だけにとどめず、周囲に広く伝え、議論していく事が大切だと学びました。多忙を極める仲間たちに短く、でも実効ある伝え方で広めていくことが、今後の課題だと思いました。
- ・テレビのニュースよりも分かりやすいお話でした。これまで自分が知らなかったことが多すぎて、知らないままで法律が変わっていくことを考えるとゾッとする気持ちになりました。
- ・「共謀罪」は、日本国憲法が保障する思想・良心の自由や言論・表現の自由を侵す違憲立法だと感じました。いつの間にこんなことがまかり通る国になってしまったのか、危機感を持ちました。
- ・ただ反対というだけでなく、私たちの「自由」をどう考えるかという問題なのだというお話に共感しました。自由の大切さを本当に考えて、実感できている人は少ないと思います。自由を守るためにこれからも行動していきたいです。
- ・憲法の話は難しいイメージがある。だけど、これからの時代を教員として生きていくために、しっかりと理解しないといけない内容でした。ただ、世の中のどれだけの人が今回の話を理解しているのか、これから社会がどの方向に向かっていくのか不安になってきました。



## 第70回神奈川県教職員スポーツ大会 （陸上競技の部）

2017年11月11日(土) 陸上競技（トラック&フィールド）

- ◆日 時 11月11日(土) 10:30 開会
- ◆会 場 神奈川県立大和スポーツセンター 陸上競技場
- ◆そ の 他
  - ・全ての教職員が参加可能です。
  - ・一定の傷害保険に加入していますが、怪我等による損失全般を補償するものではありませんので、必要な保険加入等については個人のコンディションに応じて、選手各自でご準備ください。
  - ・公共交通機関をご利用ください。
- ◆参 加 申 込 各地区実行委員会事務局までお問合せください。

主催 神奈川県教職員スポーツ大会実行委員会

### 「神奈川県奨学金貸付事業」への寄付

神奈川県は、家庭の経済状況が厳しい高校生が安心して学校へ通えるよう、奨学金貸付事業を行っています。

神教組はこの趣旨に賛同し、学資を必要とする高校生へ一人でも多く、奨学金を貸し付けることができるように、2016年度も500万円の寄付を行いました。この寄付金は、「神奈川県奨学基金」に積み立てられ、今後の奨学金貸付事業の原資として活用されます。

神教組は引き続き、希望するすべての子どもたちに高校教育を保障するため、さまざまなとりくみをすすめていきます。



## ～もうすぐの方も、これからの方も～ 「セカンドライフ・相続の基礎知識講座」

7月22日(土) 13:00～15:10

会場：TKP横浜西口カンファレンスセンター  
（横浜駅西口 徒歩5分）

第1部「退職後の基礎知識」 13:00-14:00

- 退職金や公的年金減少、増税 etc 私たちをとりまく環境は厳しくなっており、その中で知っておきたい知識をお話します。

第2部「相続の基礎知識」 14:10-15:10

- 昨年より相続税が上がり、税金がかかる人が2倍以上になったと言われています。相続「税」対策や「争族」防止等の基礎知識をお話します。

講師：間宮孝一さん 民事信託・相続アドバイザー協会代表理事  
AFP ファイナンシャルプランナー

<予約制>

《お気軽にご参加ください。お申込みお問い合わせは下記へ》

（一財）神奈川県教育会館 生活設計講座 〒220-0053 横浜市西区藤棚町 2-197

TEL 045-231-8191 FAX 045-251-3181

<http://kec-y.or.jp>